

## 南ア月報

(2013年3月)

在南アフリカ日本国大使館

### 1. 内政

#### ●NUMSA、国家開発計画NDPに異議

8日、NUMSA（全国金属労働者組合）のアービン・ジム事務局長は国家開発計画（NDP）が野党DAの政策のレプリカになっていると批判した。NDPは産業化や製造業を何ら後押しする計画ではなく、もしNDPを実行に移すならば3者同盟に亀裂が入ることになると警告した。

#### ●ANC青年同盟執行委員会、ANCリンポポ州執行委員会、解散

15日から19日にかけて、ANCの全国執行委員会（NEC）の集中会議がプレトリアで行われ、ANC青年同盟進行委員会及びリンポポ州の州執行委員会の解散を決定した。これによりマタレ州議長（州首相）、レハンヤネ事務局長、ラドゥジラニ副事務局長（安全保障&リエゾン大臣）、ケナナ財務部長を含む25名の州執行委員が更迭された。青年同盟は、反ズマ派の一人とされていたマガカANC青年同盟事務局長の懲罰期間が近く終了することを受け、青年同盟内で新執行委員選出会議を目前に控えた矢先で執行委員会解散を余儀なくさせられた。

#### ●マンデラ元大統領再入院

マンデラ元大統領は27日未明前、肺感染症の再発のため再入院した。ズマ大統領は、元大統領の早期回復を祈るとし、「南アフリカ国民と世界に対し、我々の愛すべき元大統領と彼の家族のために祈り、心にとめていただけるようお願い申し上げます。元大統領の医療チームには絶対の自信があり、元大統領の回復のためにあらゆることを行うだろう。」と述べた。マンデラ元大統領は3月9日にも検査のため再入院したが、検査を成功裏に終え、翌日良好な状態でヨハネスブルクの自宅に戻った。

### 2. 外交

#### ●SADC オーガン・トロイカ首脳会合の開催

9日、プレトリアでSADC政治・防衛・安全保障協力オーガン・トロイカ首脳会合が開催され、ジンバブエ情勢等に関する協議が行われた。同会合では、ジンバブエ問題でSADCの調停役を務めるズマ大統領より提出された報告書に対する承認が行われたほか、16日に開催予定の新憲法制定の是非を問う国民投票を歓迎し、SADC選挙監視団を派遣する旨述べた。

#### ●フランスマン国際関係・協力副大臣のTICAD閣僚級準備会合出席

16日-17日、フランスマン国際関係・協力副大臣は、エチオピアで開催されたTICAD閣僚級準備会合に参加するため、エチオピアのアディスアベバを訪問した。当閣僚級準備会合には、アフリカから52ヶ国、46名の閣僚級首席代表が参加したほか、84の地域・国際機関、NGO、民間セクターなど計約1000名以上が参加した。当準備会合では、本

年6月に横浜で開催される TICADV に向け、TICADV が目指すべき成果や主要な論点のほか、TICADV で採択する予定の成果文書について議論を行い、閣僚レベルで採択を行った。フランスマン副大臣は、岸田外務大臣と短時間会話を交わした。

#### ●中央アフリカに展開する南ア軍兵士に対する反政府勢力の攻撃

23日、中央アフリカの反政府武装勢力の連合であるセレカ (Seleka) が首都バンギへ侵攻し、24日午前、政府軍との間で激しい戦闘が発生した。一連の戦闘で、2007年の南ア・中央アフリカ間の軍事協力協定により中央アフリカに派遣されていた南ア国軍兵士13名が死亡、27名が負傷した。中央アフリカへの南ア国軍の派遣については、2013年1月2日にズマ大統領が南ア軍兵士400名の派遣を決定し、内200名がすでに現地に派遣されていた。ズマ大統領は26日の BRICS 首脳会合の記者会見において、「南アは人質の即時解放を強く求めるとともに、AUの一員として、武力による権力の掌握を認めず、憲法に拠らない政権交代を企てる首謀者に対する制裁や措置を支援する。13名の勇敢な南ア軍兵士の死を深く悼むとともに、27名の負傷者の早期回復を祈る」と述べた。ズマ大統領及びシヨケ南ア国防軍司令官は当初、(南ア国軍の派兵は)既存の二国間の合意に基づくものであり、撤退する理由はないと述べていた。しかし、ジレDA党首やマジブコDA議会党首、ホロミサUDM党首などを始め国内及びアフリカ諸国から南ア国軍の派遣に対し批判が高まり、4月3日、ズマ大統領はチャドで開催された中部アフリカ諸国経済共同体 (ECCAS) 臨時首脳会合において南ア国軍の中央アフリカからの撤退を表明した。

#### ●第5回 BRICS 首脳会合の開催

26日-27日、ダーバンで第5回 BRICS 首脳会合が開催された。同首脳会合において、BRICS 諸国首脳は新開発銀行設立に合意したが、資金規模、本部設置場所、総裁人事等の詳細は決まらなかった。ゴードン財務大臣は、同銀行は世銀やIMFと競合するものではなく、その足りない部分を補完するものである旨説明している。首脳会合では、分担準備金協定(CRA)についても合意がなされ、2013年9月に開かれる BRICS 財務大臣及び中央銀行総裁の会合において、新開発銀行及びCRAの進捗状況を精査することが合意された。また、BRICS シンクタンク・カウンシルと BRICS ビジネス・カウンシルの設置も合意され、BRICS の域内協力を強化するものとして期待されている。

### 3. 経済

#### <経済指標>

##### ●経済成長

南ア準備銀行によると、先行指標は1月においても上昇し、7ヶ月連続で上昇を示している。昨年1月と比較し1.2%の増加であった。先行指標の増加は経済成長に良い兆である。南ア財務省は今年の経済成長を昨年の2.5%から2.7%に、来年は3.5%、2015年は3.8%になると期待している。

##### ●景況感

南アフリカ商工会 (Sacci) の景況感指数 (BCI) は、13の指数の要因のうち7がマイナスとなり、1月は94、2月が93となっている。Sacci はビジネスの状況を改良する前に世界の経済状況と同様に国内の経済状況が変わらなければならないと述べている。Meganomics のエコノミストは、これらの指標は経済回復が持続可能でないことを指摘していると述べている。

## ●雇用

南ア雇用統計報告季報によれば、非農業分野の産業は、昨年第3四半期の10,000人と比較し、昨年第4四半期に22,000人の雇用者が加わったと報告している。これはサービス分野での雇用が増加し、季節的な雇用の増加によるものとしている。最近の雇用展望調査では、雇用者が今年第1四半期に従業員をさらに雇用する傾向は示されていない。

## ●貿易

貿易赤字は昨年12月に27億ランドであったが、1月に過去最高を記録し245億ランドとなった。急激な輸入の増加と輸出の弱体化が大きな貿易赤字をもたらした。最新のデータはさらなる海外からの投資が必要であることを示している。

## ●経常勘定

昨年第4四半期の経常勘定は急激なランド安を招いた。南ア準備銀行によると、昨年第4四半期の経常勘定の赤字は予想していたGDPの6.3%を上回る6.5%と高い数字を示した。昨年全体では6.3%の赤字であったが、この数字は2008年に7.2%という数字を示して以来、高い数字となっている。Barclays Researchによれば、今年の第1四半期の赤字はGDPの8%程になり、さらなるランド安が続くと予想される。

## ●インフレ

南ア統計局によれば、インフレ率は1月に5.4%であったが、2月に5.9%を記録した。この数字は政府が定めた3%から6%のインフラ・ターゲットの範囲内である。しかし、ロシア投資銀行大手Renaissance Capitalのエコノミストは、インフレの原因となるのは電気と石油の価格上昇であり、すぐにこのターゲット上限を上回り、予測より長い期間持続することになると予想している。

## ●工業生産

南ア統計局によれば、工業生産は12月の2%に比較し1月は3.9%に増加した。石油、自動車、食料品そして飲料が増加の要因となった。製造業界団体によれば、昨年労働争議が一段落したこととランド安のおかげで製造業は回復傾向にある。ランドは3月5日時点では、年初より8%安くなり1USドル9.26ランドとなっている。

## <出来事>

### ●鉱山

カナダの研究機関Fraser Instituteによれば、南ア政府の鉱山政策の不確実性により、南アは工業投資に魅力的な国の最新の調査で上位50%にも入らない低いランキングとなっている。南アは、ザンビア、ナミビア、ブルキナファソそしてニジェールのような国々の後塵となる53位にランキングされている。投資環境の規制が劇的に変えられる必要がある。

### ●輸出

南ア港湾規制委員会は輸出用コンテナの使用料金を40%削減する新たな料金体系を4月1日より導入すると発表した。これは、世界でも高いといわれている港湾使用料を是正する港湾公社の計画によるものである。また、同公社は船荷の料金体系も改め減額し、バルク輸送の料金を増額することも計画している。

#### ●原子力

ロシアの国営原子力エネルギー公社である Rosatom がアフリカ大陸の原子力発電関連の入札に取り組むため南アに支店を開設した。Rosatom は世界のウラン濃縮の 45% を行い、原子力発電総量で世界で 4 番目にランクされている。同社は、南アで行われた BRICS 首脳会合に併せて開催されたビジネス対話に参加し、今後の原子力発電プロジェクトにつき議論を行ったと見られる。

### 4. 広報・文化

#### ●武道デモンストレーション

2 日、ヨハネスブルグのヴィッツ大学内のオールド・ミューチュアル・スポーツホールで武道デモンストレーションが開催された。当日は、居合道、琉球古武術、空手、剣道、合気道及び柔道の各団体から、南アフリカを代表する武道家によるデモンストレーションが行われ、その迫力に多くの観客から賞賛がもたらされた。本年度は近年行われていなかったヨハネスブルグでの開催であり、ヴィッツ大学学生のほか、多くのヨハネスブルグ市民の来場があった。

#### ●生け花・盆栽デモンストレーション

16 日、大使館多目的ホールにおいて、生け花・盆栽デモンストレーションが開催された。冒頭に、2010 年に旭日双光章を受賞した生け花インターナショナルプレトリア支部のクロフォード氏の基調講演が行われ、その後、一葉会、池坊流、小原流、草月流及びシブイ盆栽会の各代表者によるデモンストレーションが行われた。また、会場には各参加団体による作品の展示が行われ、学生、研究者、外交団など、幅広い層からの多くの来場者の注目を集めた。

### 5. 警備・治安

#### ●宝石店強盗・ATM強盗が増加傾向

3 月中、首都プレトリア市内において、在留邦人の居住区に隣接するショッピングモール内の宝石店を狙った強盗事件が相次いで（2 件）発生した。

両事案ともけん銃を所持した 5 人組の武装強盗団による犯行であり、1 件目の事件では、店舗前を偶然通行していた男性が頭部を撃たれ病院に運ばれた。また、2 件目の事件では、宝石店店主が防犯用にけん銃を所持していたため犯人に向け発砲し、銃撃戦になった末、犯人の一人が怪我を負っている。

宝石店等を狙った店舗強盗事件は近年増加傾向にあり、国家警察の情報によると、ATM 利用者に対する強盗も今年に入り目立ってきているとのことである。

(了)